

小川山(奥秩父) 山行日：2012年9月13日(木) 天候：曇り

コース：自宅 4:00—瑞牆山荘 P7:40~53…富士見平 8:29~34…瑞牆分岐 8:51…八丁平 9:35~42
…2290m10:57…小川山 11:26~12:02…2290m12:26…2200m岩場展望箇所(15分休み)
…八丁平 13:35~50…富士見平 14:33~40…瑞牆山荘 P15:13~40—自宅 19:15

参加者：いが、他1名



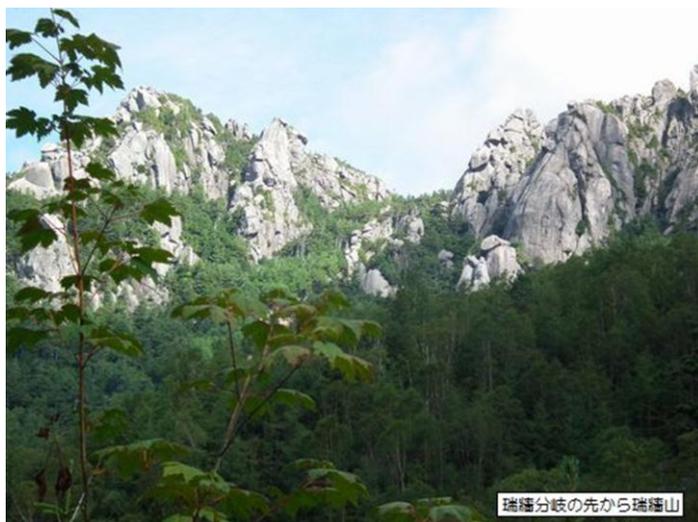
すでに登山口の駐車場には 20 台ほどの車が止めてある。この日小川山で会った登山者は一人だった。



瑞牆山が NHK テレビ番組で紹介されたのを見たのが、今回の小川山行のきっかけ、その番組内でこの山小屋管理のご夫婦を紹介していた。私が初めて見てからすでに 50 年、当時の建物が健在とは素晴らしい。



瑞牆分岐から八丁平に向かう登山道からみた瑞牆山の岩の連なり。



奥深い原生林の森、展望は望めないものの、この雰囲気は捨て難い。





八丁平から小川山の間、2か所の展望箇所がある。最初の2200m付近の岩に乗ると、すでに下方になった

瑞牆山が望める。この日は曇り空のため遠くは見えなかった。



原生林の森の中には様々なキノコ、残念ながら知識を持ち合わせないため、写真に収めるだけにとどめ、帰ってから図鑑で調べたところ、ニガクリタケは毒、スギタケモドキは食できるものの、それほど美味しくはないとのこと、それにしても松茸がないものか！



この小川山展望を期待する山ではなく、奥秩父特有の原生林を好んで歩くには、素晴らしい山歩きができる。倒木や大きな岩を乗り越えたり苦勞はあるが、全体にゆるやかな登山道と感じた。分厚いコケや腐葉土の積み重なりが足に心地良い。往復の時間が長いため、あまりのんびりと歩くことができなかったのが残念。